

**おやこ
親子で
チャレンジ！**

楽しい学校生活を送るためにチャレンジしてみよう。
できたところに○をつけてね。

START

ウンチの出るリズムをつかもう！

いつ頃ウンチが出るかな？
間隔や回数が分かるといいね。
日に回

一人で着替え、たんんだりできるかな？

ひとりきが
★一人で着替えられるよ。
もの
★ぬいだ物はきちんとたためるよ。
たま
★立ったままでも着替えられるよ。

すきな本を見つけよう。

おやこ
親子で
読書タイム。
うれしいね。

今日のできごと、お話できた？

今日ね～。
こんなことが
あったんだよ！
そうなんだ～

朝ごはんをしっかり食べよう！

からだ
じ時 分にねる
じ時 分におきる
目標を決めて
やってみよう。

体を使った遊びをたくさんしてる？

一緒に遊ぶと
おもしろいね。
○をつけよう

使ったものはもとの場所に片づける。

片付ける場所が
決まっているといいね。
TOY

親子でさんぽも楽しいよ。

えん
がっこう
園や学校まで
の道を歩くとい
いね。
★右側通行知っている？している?
★歩道を通っている？
★右・左・右」確かめている？

一年生おめでとう！

いちねんせい
うれしいな
聞いてもらって
安心したよ！

～入学前に気になること～

Q 安全に登下校できるでしょうか？

A 入学までには、散歩などで学校までの通学路と一緒に確認してみましょう。横断歩道や信号、標識も意識し、「信号が青に変わっても、すぐに渡らず右・左・右を確認するんだよ。」「ここは車がたくさん通るから『止まれ』の標識があるね。この標識があるところでは、車や自転車だけでなく歩く人も止まって安全確認するよ。」というように理由も伝えながら話しておくといいですね。

Q 給食を時間内に食べられるか心配です。

A 小学校では、給食が楽しく食べられるよう工夫をしています。食べられる量や食物アレルギーなど、心配なことがあるときは、小学校に相談しましょう。

Q ひらがなの読み書きは入学までにできないといけませんか？

A 自分の名前を読み書きできると、いろいろな活動に安心して取り組めます。無理に教え込むのではなく、絵本と一緒に読むなど、子ども自身が生活の中で「読みたい、書きたい」という意欲をもつことを大切にしましょう。

安心して入学をむかえるために

小学校入学までに
家でどんなことを
しておけばいいのかな？

小学校の一日の
生活の流れについて
いくのかな？

ポイント①「体と心の健康」

お子さんが安心感をもって学校生活を送るために、今、家庭で大切にしてほしいことを3つ紹介しています。

ポイント②「遊びは学習」

乳幼児期の遊びは学習であり、小学校の学習につながっています。
小学校では、園生活とのつながりを意識した学習の進め方を取り入れています。

安心して入学をむかえるために

入学前に、家庭で大切にしたい3つのこと

家庭・地域等では



その1

規則正しい生活リズムを
つくりましょう!



生活リズムが整うことで、

- ◎あきらめない、挑戦する、人の話が終わるまで静かに聞けるといった学習や運動に向かう気持ち
 - ◎自分ことは自分で自立に向かう姿勢
- を育てることができます。

その2

「愛される自分」「大切な自分」を感じられるような関わりをしましょう!

◎自分から挑戦しようとする気持ち・行動を応援する
子どもの「やってみたい」「知りたい」「なんだろう」は学びに向かう力の基礎になります。

◎小さな失敗を重ねながら考えることを見守る
子どもの自ら考え、チャレンジする力を信じ見守ることが大切です。

◎「いつも見守っている・分かっているよ」ビームを届ける
目を合わせ、にっこりほほえむ等、できることで大丈夫です。

◎していいこと、してはいけないことを、理由もいっしょに話していく
理由が分かれば納得し、判断できる力もついていきます。
「何度もゆっくり丁寧に」がポイントです。

◎子どもの目を見て話を聞く
短い時間でも大丈夫。目を見て話を聞くことで、満足感を得て、心が安定します。

大切な自分
自尊感情



愛される自分
信頼感

その3

「主体性」をのばす
関わりをしましょう!

主体性とは、自分で考え、判断し、行動することです。
主体性をのばすことでの将来、様々なことに挑戦したり、困難を乗り越えたりする力につながります。

関わり方のコツ

- ①子どもの考えを聴く
- ②一緒に考え、最後は子どもに決めさせる
- ③結果を急がず、じっくり待つ

体と心の健康で安心感が生まれます。
この安心感に支えられて、入学後もお子さんは自分らしさを発揮しながら生活を送ることができます。

0歳…

5歳 6歳

小学1年生初期

…18歳

接続期

保育所・幼稚園等・小学校では

遊びを通して学ぶ時期



教科書などで学ぶ時期



そして社会へ（夢にむかつてはばたく子どもたち）